

# 令和6年第8回 総務文教委員会会議録

令和6年9月25日

第2委員会室

開 会： 午後1時12分

委員長 服部 紀史

副委員長 山内 敏敬

2番委員 伊藤 勝彦、3番委員 平林 多津子、4番委員 柘植 孝彦、5番委員 安藤 直実

委員長 ; それでは皆さんおそろいようですので、ただいまから令和6年第8回総務文教委員会を開会いたします。

本日の会議は、先ほどの本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は、次第書の順序で行いますので、よろしく願いいたします。

それでは早速議題に入りますが、議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。

発言及び反問につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認し、着座にて、マイクに向かって簡潔に質疑・答弁をされますようお願いいたします。

---

委員長 ; 初めに、「議第84号 契約の締結について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

はい。3番委員。

3番委員 ; 旧岩村振興事務所の改修工事に関わっての入札ということですが、2点お尋ねします。指名競争入札には8社が参加されて、辞退が3社と、小栗材木店が落札されたということですが、落札された理由を1点お聞きします。

委員長 ; 理由ですか。

3番委員 ; そこに決まった理由っていうのは、もう1点は、全体の建設費が6億3,088万4,000円ですが、建築以外にも内装とか入ってくるわけですね。それについてもそれぞれ、このように指名競争入札が行われるのでしょうか。よろしくお願いいたします。何か間違っていたでしょうか。すみません。

委員長 ; はい、財務課長。

財務課長 ; 発注につきましては社会教育課で行っておりますが、財務課で契約を行っておりますので説明させていただきます。こちら業者を選定する場合、指名を行います。今回建築部分については、12社を選定し7社が辞退ということで、5社が入札しております。決定については、落札金額で最低金額のものを選定しております。そのほか、電気、管と別に分けて発注しており、一斎塾のミュージアムについては別発注して行う予定です。以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; すいません、資料のほう読み間違えました。私は1ページだけ見て8社と勘違いしていました。すいません。分かりました。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第84号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

#### (賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第84号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第85号 令和6年度恵那市一般会計補正予算(第6号)(歳入歳出所管部分)」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

4番委員。

4番委員 ; はい。お願いします。恵那南中学校の整備費ということで本格的に整備が始まるという説明でした。私も中学校の建設までの経緯を調べる中で、過去に山岡中学校を改修する事業費が大体15億円ぐらいという説明があったことがあるんですが、今回継続費まで含めると大体33億円を越すというような予算で出ております。そういった金額の違い、約倍ということになっておりますけども、その辺の説明をもう少ししていただきたいと思っております。

委員長 ; はい、教育総務課長。

教育総務課長 ; はい、よろしくお願ひします。全体の増改築工事費について、過去に示した金額との違いということでお答えさせていただきます。過去に開催しました学校統合に関する委員会での資料がございます。令和4年8月に立ち上げました恵那市教育環境等検討委員会の中でこの金額を示しております。会議資料の中で校舎の建築費等のイニシャルコストについて、既存の山岡中学校を増改築した場合の費用として約15億円が必要であることを説明しております。今回9月補正予算に計上させていただいた金額については、約15億円から約2倍程度になっておりますが、この大きな要因といたしましては、大きく5つございます。まず1つ目としてですが、当初、建築費を積算したのは平成30年でございますので、現在物価高により建築費全体が約1.5倍になっていることが1点目です。2つ目として既存校舎の改修は、当時、化粧直し程度の積算であったこと。3つ目としましては、当時は屋内運動場の改修が積算には入っていないこと。4つ目として、電気及び機械設備の改修工事、外構工事が積算に入っていなかったこと。そして最後5つ目でございますが、校舎の増改築は、統合準備委員会の委員であります保護者等の意見をできる限り多く反映させたという点でございます。意見反映の1例を申し上げますと、例えば、雨天時の屋外活動や、体育授業時の休憩場所としてのピロティをつくる。それから現在使用している既存校舎より教室を広くする。既存のランチルームをメディアスペースに改修するなどがあります。このような要因により増改築費に違いが出たものでありますが、令和8年4月開校に向け、恵那市の未来を担う子どもたちのために、教育環境を充実させる上では必要な予算となりますので、よろしくお願ひをいたします。以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

2番委員。

2番委員 ; 2点お願ひいたします。既存校舎の改修のことについてですけれど、全員協議会のほうで少し説明があったかと思いますが、もう少し詳しくお願ひをいたします。特別支援教室とそれから校内教育支援センターが設置されるということですが、特別支援教室について分かるんですけど、校内教育支援センター、この機能についてももう少し詳しくお聞かせ願ひしたいことと、こういった施設を充実させる、その理由をお聞かせください。それからもう1点ですけれど、これは新しい校舎のほうですけれど、12部屋を普通教室として用意すると。今後、生徒数が減っていくことが予想される中、例えば減ったような場合、空き教室をどういうふうにご利用されるか

っていうこと。それからもう1つ、これ先ほど答弁にありましたけれど、メディアスペース、ちょっと初めて聞くのですけど、これの中身についても、また少し詳しくお聞かせください。以上です。

委員長 ; はい、教育総務課長。

教育総務課長 ; はい。それでは、最初に校内教育支援センターについてお答えさせていただきます。

この校内教育支援センターについてですが、令和5年11月に文部科学省から不登校の児童生徒に対する支援の充実を図るよう通達がございました。そして恵那市では、令和6年度、今年からですが、各中学校に校内教育支援センターを設置しております。現在の山岡中学校についても、保健室や相談室を併用して設置しております。この校内教育支援センターの主な対象生徒としましては、教室に行きづらさを感じている生徒が安心して学校生活を送ることができる居場所として、いわゆる学校には行けるが教室には入れない生徒であります。現在恵南地域5つの中学校全体での不登校生徒は20人程度おります。このうちの10人程度が対象となっております。今回3部屋を確保させていただくわけですが、これは学習室のほかに相談ができる相談室、そしてフリースペース、これを設けることに加えて、対象者が非常に流動的でありますので、増加傾向である対象者にも対応できるよう、余裕を持ったスペースの確保を今回行うものであります。今回の校舎増改築につきましては、支援が必要な生徒に対しても、充実を図っていくものでありますのでよろしくお願いをいたします。それから次の御質問でございます。将来的な空き教室数の利活用についてですが、令和8年の開校時に普通教室は11部屋必要となります。これは1年生が3クラス、2年生が4クラス、3年生が4クラスであります。将来的には生徒数の減少に伴い、クラス数は減ってまいります。普通教室については、1例としてですが、少人数指導教室としての利用を想定しておりますが、これは開校後になりますけれども、校長先生をはじめとしました学校現場での有効な使い方を考えていただくこととなります。この少人数指導教室でございますが、生徒の習熟度に応じ部屋を分けて学習することで、きめ細かな指導を進めることができる指導方法でございます。続いてメディアスペースについてお答えさせていただきます。今回の増改築工事の特徴の1つでありますメディアスペースですが、既存校舎の1階ランチルームと2階の図書室を中階段でつなぎ、行き来できるようにし、一体感のある空間となります。1階部分でございますが、大型のプロジェクターだとか大型のスクリーンを常設しまして、プレゼンテーション空間や映像視聴空間を整備して、先進的なICT学習ができる環境を目指しております。そのほかにもグループで学習できるようなミーテ

ィングエリア、生徒個人が集中して読書ができるエリアなどを整備いたします。2階部分でございますが生徒が増えることから、現在、山岡中学校には6,300冊ほどの図書がありますが、これを約2倍程度に増冊するために、2階部分は書架の整備を基本に行ってまいります。こうした整備につきましては、統合中学校準備委員会からの提案により、協議を行った上で整備に至ったものでありますので、よろしくお願いいたします。以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; 先ほどの柘植委員と同じ質問を私も考えておりましたが、お話を聞いて分かりました。ただ5つ目の委員の意見ということで言わせていただきます。当初私見学に行ったときに、校舎の角レッドゾーンに指定される場所に増築されますよというお話を聞いていたので、そうなのか。だから15億円なのかと思っていたのですが、そこはレッドゾーンに指定されたこと、それから統合準備委員会で、車をロータリーで回せるようにとか、グラウンドにつくってつないだらどうかとか様々な意見の中で、このような案が作られてきたことは承知しております。ただ金額については全く話されていないんですけども、統合準備委員会での何か説明とか、討議なんかは行われているのでしょうか。お願いします。

委員長 ; はい、教育総務課長。

教育総務課長 ; はい、統合準備委員会につきましては金額的なものはお話ししておりません。金額的なものについてはあくまでも議会の議決が必要になりますので、金額的なものはお話ししておりませんが、統合準備委員会ではこんな学校にしてほしいという要望的なもの。そういったものはお受けしております。以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; すいません。皆さんの保護者の要望が十分入れられているなどは思います。ただまた後でも話しますが、それが今後のどう活用するかは先ほど伊藤議員の質問もありましたけども、人数が減った場合どうするか問題だなどは思っているところです。では違う質問します。過疎対策事業債を使うということで2年間含めて、過疎対策事業債が29億4,420万円活用するということでした。過疎対策事業債というのは、ちょっと言います。国の過疎地域自立促進特別措置法により過疎地域とされた市町村が、過疎地域自立促進市町村計画に基づいて行う事業の財源として、発行が認められた地方債ということですけども、今回の学校統合が、恵那市の自立促進計画に

どのように位置づけられているのかお聞きいたします。よろしく申し上げます。

委員長 ; はい、財務課長。

財務課長 ; 委員長、反問権の許可をお願いします。

委員長 ; はい、反問権を認めます。

財務課長 ; 今回の9月補正になりますが、こちらは学校建設、事業担当部署は教育総務課、予算を定めるのが財務課となっております。今議員の言われた過疎地域持続的発展支援計画については、担当部署が異なりますので位置づけ等はお答えできませんので申し上げます。よろしいでしょうか。

3番委員 ; きっと申請する場合には、その計画に基づいて行うものだと思いますので、ここで私はお聞きしたいんですけども。

委員長 ; はい、教育総務課長。

教育総務課長 ; それでは今、過疎地域の計画に係る位置づけということの質問だと思いますが、お答えいたします。議員の皆様はもちろん御存じのことだと思いますけれども、過疎地域の計画なんです、令和3年9月に恵那市過疎地域持続的発展支援計画を策定いたしまして、同年9月議会にて必要事項が議決されております。これが恵那市過疎地域持続的発展支援計画でございます。現在の計画の中で、具体的に言いますと、28ページ、教育の振興というものがあります。この中で、恵那南地区統合中学校増築事業が掲載されておりますので、これに基づいて申請を行うものです。以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

5番委員。

5番委員 ; 図面とか見せていただきまして、統合準備委員会、何か部会のところでも意見が出ていたような。議事録を確認しましたが、エレベーターの設置のことです。増築するほうの教室があるほう、こっちにはエレベーターつけますよということでしたけど、既存のほうですよね。校内教育支援センターだとか特別教室、理科室、音楽室、いろいろあると思うんですけど、こちらのほうは2階建てだと思いますが、エレベーターを設置しないというふうなことに決定したのはどういうことかなと思います。

委員長 ; はい、教育総務課長。

教育総務課長 ; はい、既存校舎のほうにエレベーターを設置というものも考えていましたが、実は構造的に無理ということが分かりましたので、既存校舎にはつけないという形になりました。以上です。

委員長 ; はい、5番委員。

5番委員 ; 構造的な問題でということですか。それなら仕方がないかと思うんですけど、やっぱり足をけがしたとか、様々な理由で車椅子になる子ども中にはいらっしゃると思うんですよ。そういうときに、どういう対応を、今でもそうかもしれませんけど、どういう対応するのかなという話です。それと、階段があるので、今ちょっと山岡中学校は私記憶がないので申し訳ないんですけども、手すりはもう全てのところに設置をしていただきたい。ほかの学校で無いところもあったりしますので、手すりだけは。

委員長 ; 5番委員。それは要望ですか。質疑ですか。

5番委員 ; 手すりをつけていただきたいんですけど、その考えはどうかと、すみません最後まで聞いてください。以上です。

委員長 ; はい、教育総務課長。

教育総務課長 ; はい、ありがとうございます。1つの要望として、検討をしてみたいです。以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; 先ほどと重なって一言いうのと、次のです。過疎地域持続的発展支援計画についてですけども、私の勉強不足ですみません。令和3年9月に出されたもので28ページと。教育の振興という一言だけなんでしょうか。それによって自立促進をどう進めるのかということ示されていないのかなと思っておりますので、また勉強させていただきます。

委員長 ; 3番委員。議会で議決して本人が承知しているはずの話ですので、こういう質問は非常におかしいと思います。よく勉強しておいてください。

3番委員 ; 非常に疑問に思いますが、今後私はよく勉強したいと思います。では、今まで東京オリンピックやとか大阪万博だとか、どこを見ても当初計画した予算を大幅に超えているのが現状です。今後上がっていった場合に、今回の予算でやれるのかということと、できない場合はどうするのかということをお尋ねしたいと思います。

委員長 ; はい、教育総務課長。

教育総務課長 ; 現時点では、実施設計に基づいた金額を計上しておりますので、この金額でいけると思っております。以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; もう1つすみません。今回は校舎増改築ということで補正予算。また来年度当初予

算で出されるということですが、今後、通学バスの運行であるとか、学習拠点施設整備計画なんかもなされるかと思います。そのための予算計上もされるかと思われますけども、それはいつ頃なされるのでしょうか。よろしくお願いします。

教育総務課長；委員長、反問権の許可をお願いします。

委員長；はい、反問権を認めます。

教育総務課長；今回につきましては、校舎の増改築についてのものだと思いますので、今議員おっしゃるようなスクールバス、それから教育拠点施設の件については、今回の予算と関係ないことですのでいかがでしょうか。以上です。

委員長；はい、3番委員。

3番委員；今後の要望を言わせていただきます。今回は今日提案があつて9月30日議決という大変短い期間です。もう少し全体的な見通しを持ちながら、早く提案していただきたい。もちろん、予算計上はされてない、計画が立ってないところで難しいかとは思いますが、このような拙速な進め方ではなくって、十分論議できるゆとりを持っていただきたいということが私の要望です。以上です。

委員長；ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長；ほかにないようですので、御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

はい、3番委員。

3番委員；ただいまの質問といろいろ重なってきますけども、よろしくお願いいたします。今回の議第85号の一般会計補正予算（第6号）に反対の立場で、発言いたします。そもそもこのような多額な補正予算、今回は15億2,500万円ですけども、追加議案として出され、提案から本会議までたった5日間という短期間で決定されようとしていることに大変疑問に思います。多人数で切磋琢磨であるとか、専門教科の教員の確保を理由として、令和8年開校のみを前提とする余りにも拙速な進め方だと思います。来年度の当初予算に組み込まれる金額も含めて、反対理由を述べます。1つ目です。学校統合の基本方針を決めたと言われる令和4年の教育環境等検討委員会資料では、現在の山岡中学校を利用した場合について、イニシャルコストが15億2,780万円、そのうち校舎建築が13億5,620万円と示されていました。これは、このイニシャルコストというのは、道路整備や用地取得などを含めた金額です。今回このように多額となった理由と意義について市民に受入れられるのか疑問です。今後、周辺の整備であるとか、地域学習拠点施設整備などにも多額な予算が求められ、また

増築校舎が8年後には必要なくなるという状況は、市民の理解が得られないと考えます。2つ目です。準備委員会での論議がなされていません。先ほどもお聞きしました。設計までは準備委員会で保護者を中心として論議を経てきました。予算がこのように大幅に上がったことについて、準備委員会での説明、論議がなされているのでしょうか。先ほど話ではないということでしたけども、筋としては、準備委員会での確認が必要な事項と考えます。3つ目です。過疎対策事業債を使う意義に反すると考えます。先ほども申しました。歳入の多くの部分は、過疎対策事業債によって賄われます。充当率100%、元利償還金の70%が普通交付税措置がなされる事業債ですが、先ほども言いました過疎対策事業債とは、というお話をしましたけども、先ほど答弁を聞きましたが、今回の学校統合が恵那市の自立促進計画にどのように位置づけられているのか。本当に恵那市が自立し、過疎を抜け出していく、そのように位置づけられているように思いませんでした。過疎から抜け出す恵那市全体の展望が示されていません。これは私は一般質問の中でも、市長にお答えをお願いしたところですけども、地域では、学校統合がさらなる過疎化につながるとの不安も生まれています。現に私の前にも、もう転出すると言っている方もみえます。また、岩村地域で言いますと、過疎地域でないのになぜ統合するのか、そこに過疎対策事業債を使うことはどうなのかという意見も出ています。最後に、恵那市の財政大丈夫ですかということで申し添えさせていただきます。平成27年に行われていた、恵那南地区中学校再編委員会の中では、花白駅付近に新設、明知鉄道利用ということで論議が進められていました。その当時、新設で40億円の予算が見込まれていました。それに対して、アドバイザーであり行財政改革のアドバイザーでもあった大学の教授から、そのような財政出動は恵那市の財政破綻につながるとの発言がありました。今回の予算計上については、しっかりと市民に伝え、論議することがとても大切だと考えます。以上、今のような拙速な進め方に反対するというので、議第85号一般会計補正予算（第6号）に反対いたします。よろしくをお願いします。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

1番委員。

1番委員 ; はい。1番、新政会の山内敏敬です。議第85号、令和6年度恵那市一般会計補正予算（第6号）に賛成の立場で討論いたします。今回の補正予算については、令和6年7月臨時議会において決議された学校設置条例の一部改正により、学校名や開校日が決定した恵那南中学校に係る増改築工事費に関わる補正予算であります。増改築費に大きな違いが出た理由については、大きく5つほど理由があるようですが、物

価高の影響や準備委員会の意見をできる限り反映させております。また、特に支援が必要な制度に対しても充実を図っていく内容となっております。いずれも納得がいくもので、適正に見積もられております。また、継続費の計上や過疎対策費事業債の借入れを見込むなど、事業の実施や財政的にも無理のない予算となっております。いずれにしても、この補正予算は、恵那市の未来を担う子どもたちのために少しでも早く教育環境の充実を図るために必要な予算であると考えますので、賛成討論といたします。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ほかにありませんので、討論を終結し採決を行います。

「議第85号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 挙手多数であります。よって「議第85号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題を全て終了しました。

最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ありがとうございます。

それではこれもちまして、令和6年第8回総務文教委員会を閉会いたします。  
お疲れさまでした。

午後1時40分閉会

恵那市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 総務文教委員長 服部紀史